

企業紹介

より良い品質、地球環境に優しい “地球環境創造企業”



株式会社 廣瀬

代表取締役 廣瀬 徳男
〒950-1102 新潟市西区善久823
TEL(025)377-1500 FAX(025)377-1501
URL <http://www.n-hirose.co.jp/>

業 種：建設
資 本 金：6,000万円
事業内容：土木・建築・舗装・管工事等の企画、
設計、施工、管理

総合建設業の(株)廣瀬では、資源循環型社会を目指し、環境事業に力を入れている。そうした中で、同社の子会社であり、汚泥リサイクルを行っている(株)北陸ジオテックでは、2008年12月に、新潟県で初めて蛍光灯のリサイクルセンターを開設。同センターは、新潟県全域で廃棄される蛍光灯全てに対応できる処理能力を持ち、廃蛍光灯の95%以上を原材料にリサイクルできることから、これまで埋め立てや県外に処理を依頼していた県内の自治体や民間企業からも大きな期待が寄せられている。

社会のニーズに応じて柔軟に対応

(株)廣瀬の創業は1954年。これまで公共工事を中心としてきた同社だが、建設業を取り巻く厳しい経営環境の中で、従来の建設業の枠に留まることなく、マンション等の賃貸管理や土地開発、高齢者向け賃貸住宅の運営管理など、社会のニーズに応じて多角的に事業を展開してきた。そうした中で、1999年には、環境を重視した事業を強化し、子会社として(株)北陸ジオテックを設立。汚泥リサイクルセンターを設け、建設工事等で廃棄される汚泥を脱水処理することなく、保肥力の高い改良土に再資源化しており、その実績は高い評価を受けている。

新潟県初の蛍光灯リサイクルセンター

さらに、2008年12月には、汚泥リサイクルセンターに隣接して、新潟県で初めてとなる蛍光灯のリサイクルセンターを開設した。同センターは、回収した蛍光灯を破碎し、分離装置などでガラスや金属などに分別し、廃蛍光灯の95%以上を元の原料に戻すことが可能。また、蛍光灯に含まれている水銀も分離し、無害化することができるとともに、環状型やコンパクト型など、あらゆる形状の蛍光灯に対応できる。

県内ではこれまで、廃棄物として回収された蛍光灯は、破碎しコンクリートで固めて埋め立てるか、輸送費を払い県外の同様の施設に運んでいた。しかし、同センターでは、年間最大で960トンの処理能力を持っているため、今後は県内全域から出る廃蛍光灯を全て同センターで処理することも可能だ。



▲廃蛍光灯を破碎し、各原料に分離。廃蛍光灯の95%以上がリサイクルできる。

新潟蛍光灯リサイクルセンター
〒950-1251
新潟市南区居宿354-7
TEL (025)211-6898

資源循環型社会を目指し、リサイクル事業を強化

「蛍光灯リサイクルの市場は決して大きくありませんが、地域に必要とされる事業です。各自治体や民間企業の関心も高く、稼働率は1年目で50%、2年目ではフル稼働が見込めるのではないのでしょうか。当社では、今後も資源循環型の社会を目指し、こうしたリサイクル事業を進めていくつもりです」と廣瀬社長は語る。



▲廣瀬社長